

平成22年4月期 第1四半期決算短信

平成21年9月14日

上場取引所 大

上場会社名 神島化学工業株式会社
 コード番号 4026 URL <http://www.konoshima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年9月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 島田 耕作
 (氏名) 池田 和夫

TEL 06-6110-1133

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第1四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成21年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第1四半期	3,829	△12.5	355	—	290	—	54	—
21年4月期第1四半期	4,374	—	△25	—	△98	—	△78	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第1四半期	5.98	—
21年4月期第1四半期	△8.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第1四半期	17,071	3,625	21.2	395.18
21年4月期	18,150	3,513	19.4	382.95

(参考) 自己資本 22年4月期第1四半期 3,625百万円 21年4月期 3,513百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年4月期	—	—	—	—	—
22年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年4月期の配当予想額につきましては未定であります。

3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	7,460	△18.8	490	178.0	340	972.8	60	—	6.49
連結累計期間	14,660	△12.8	750	85.1	440	282.8	100	—	10.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年4月期第1四半期	9,240,000株	21年4月期	9,240,000株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年4月期第1四半期	65,778株	21年4月期	64,312株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年4月期第1四半期	9,174,722株	21年4月期第1四半期	9,183,628株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年度に端を発した米国経済の変調や、リーマン・ショック以降の大幅な実体経済の低下の影響が依然として残り、悪化幅の縮小は見られましたが、低水準の経済が持続し、前年同四半期と比較いたしますと様変わりな経済状況が続きました。

このような経済、経営環境であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,829百万円と前年同四半期4,374百万円に比べ545百万円（12.5%）減収いたしました。

セグメント別の売上高は、建材事業は2,893百万円（対前年同四半期比348百万円、10.7%減収）、工業薬品事業は917百万円（対前年同四半期比204百万円、18.2%減収）、その他の事業は18百万円（対前年同四半期比7百万円、66.8%増収）となりました。

一方、コスト面では、製造部門の効率化の徹底や物流の見直し、営業所の整理統合、人員、人件費の圧縮等全ての面で見直しを行ったことから、営業利益は355百万円（対前年同四半期比381百万円の増益）、経常利益は290百万円（対前年同四半期比388百万円の増益）となりました。

特別利益として、社宅敷地の売却益47百万円を計上いたしました。特別損失は207百万円を計上しておりますが、主な費用としては、事業構造改善費用として本社移転に伴う移転費用及び原状復帰費用、生産設備の統廃合にかかわる固定資産減損損失など194百万円を計上いたしました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益130百万円（対前年同四半期比232百万円の増益）、四半期純利益54百万円（対前年同四半期比133百万円の増益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較し、1,079百万円減少して17,071百万円となりました。流動資産の減少は752百万円、固定資産の減少は326百万円であります。

流動資産の主な変動は、現金及び預金の減少543百万円、たな卸資産の減少129百万円、繰延税金資産の減少52百万円となりました。

固定資産の主な変動は、有形固定資産の減少386百万円、投資等の増加71百万円であります。

負債は1,190百万円減少して、13,446百万円となりました。流動負債の減少は230百万円、固定負債の減少は960百万円であります。このうち有利子負債の減少は872百万円となりました。

純資産は111百万円増加して3,625百万円となりました。利益剰余金の増加54百万円、その他有価証券評価差額金の増加57百万円であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比較し543百万円減少して1,899百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金は373百万円の収入(前年同四半期比623百万円の収入増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益130百万円に加え、減価償却費・減損損失等の非資金的費用の調整400百万円であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少額121百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金は43百万円の支出(前年同四半期比1百万円の支出増)となりました。主な内訳は、投資有価証券の取得による支出29百万円、有形固定資産の取得による支出65百万円、有形固定資産の売却による収入51百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金は873百万円の支出(前年同四半期比1,515百万円の支出増)となりました。これは有利子負債の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、昨年度に端を発した米国経済の変調や、リーマン・ショック以降の大幅な実体経済の低下の影響が依然として残り、低水準の経済が持続しております。このような経済環境の中で、前年同期比と比べますと、売上高の減少傾向は今後も続くものの、当第1四半期において、製造部門の効率化の徹底や物流の見直し、営業所の整理統合、人員、人件費の圧縮等全ての面で見直しを行ったことから、今後、一定の利益が確保できるものと見込んでおります。なお、平成21年6月12日に開示した予想数値から業績予想の変動がありましたので、本日(平成21年9月14日)開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③原価差額の配賦方法

予定価格を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に前連結会計年度末の配賦割合をもとに配賦しております。

④固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

- (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,899	2,443
受取手形及び売掛金	3,592	3,570
商品及び製品	2,471	2,629
仕掛品	521	471
原材料及び貯蔵品	487	509
繰延税金資産	269	321
その他	98	146
貸倒引当金	△18	△18
流動資産合計	9,321	10,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,117	2,166
機械装置及び運搬具（純額）	3,020	3,297
土地	1,256	1,260
建設仮勘定	3	54
その他（純額）	75	81
有形固定資産合計	6,473	6,859
無形固定資産	120	131
投資その他の資産		
投資有価証券	500	411
繰延税金資産	484	506
その他	248	232
貸倒引当金	△76	△64
投資その他の資産合計	1,156	1,085
固定資産合計	7,750	8,076
資産合計	17,071	18,150
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,854	1,976
短期借入金	2,800	2,900
1年内返済予定の長期借入金	2,215	2,138
未払金	388	368
未払費用	137	169
未払法人税等	10	27
賞与引当金	74	47
設備関係支払手形	20	50
その他	100	153
流動負債合計	7,601	7,831

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
固定負債		
長期借入金	5,115	5,965
退職給付引当金	638	742
役員退職慰労引当金	91	97
固定負債合計	5,844	6,805
負債合計	13,446	14,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,078	1,078
利益剰余金	1,378	1,323
自己株式	△23	△23
株主資本合計	3,752	3,697
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△126	△183
評価・換算差額等合計	△126	△183
純資産合計	3,625	3,513
負債純資産合計	17,071	18,150

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)
売上高	4,374	3,829
売上原価	3,325	2,600
売上総利益	1,049	1,228
販売費及び一般管理費	1,075	872
営業利益又は営業損失(△)	△25	355
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	5
助成金収入	—	7
破損損害金	5	—
雑収入	6	6
営業外収益合計	23	19
営業外費用		
支払利息	63	68
たな卸資産評価損	19	—
雑支出	12	16
営業外費用合計	95	85
経常利益又は経常損失(△)	△98	290
特別利益		
有形固定資産売却益	—	47
賞与引当金戻入額	162	—
投資有価証券売却益	102	—
貸倒引当金戻入額	20	—
その他	6	—
特別利益合計	291	47
特別損失		
事業構造改善費用	—	194
たな卸資産廃棄損	4	11
固定資産除却損	—	1
たな卸資産評価損	290	—
特別損失合計	295	207
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△102	130
法人税、住民税及び事業税	4	4
過年度法人税等戻入額	△7	—
法人税等調整額	△20	71
法人税等合計	△24	75
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78	54

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△102	130
減価償却費	317	270
減損損失	—	129
固定資産除却損	—	34
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△15	11
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	△104
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	△6
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△102	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△47
受取利息及び受取配当金	△11	△5
支払利息	63	68
売上債権の増減額(△は増加)	△256	△21
たな卸資産の増減額(△は増加)	530	129
仕入債務の増減額(△は減少)	△314	△121
その他	△244	15
小計	△141	484
利息及び配当金の受取額	11	5
利息の支払額	△94	△101
法人税等の支払額	△26	△15
営業活動によるキャッシュ・フロー	△250	373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△29
投資有価証券の売却による収入	181	—
有形固定資産の取得による支出	△244	△65
有形固定資産の売却による収入	—	51
無形固定資産の取得による支出	△3	△0
その他の収入	24	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300	△100
長期借入れによる収入	900	—
長期借入金の返済による支出	△556	△772
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	642	△873
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	350	△543
現金及び現金同等物の期首残高	809	2,443
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,159	1,899

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)

	建材事業 (百万円)	工業薬品事業 (百万円)	養殖事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,241	1,122	10	—	4,374	—	4,374
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	44	44	(44)	—
計	3,241	1,122	10	44	4,419	(44)	4,374
営業利益又は営業損失(△)	14	124	△27	2	113	(139)	△25

(注) 1 事業の区分は主として、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品・商品

- (1) 建材事業……………住宅・ビル用不燃内外装材
- (2) 工業薬品事業……マグネシウム類薬品、カルシウム類薬品、セラミックス原料及び製品
- (3) 養殖事業……………養殖魚
- (4) その他の事業……セメント等建築資材

3 会計処理の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、営業利益が、建材事業で18百万円、工業薬品事業で12百万円それぞれ増加しております。

4 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正による法定耐用年数の変更に伴い耐用年数を見直した結果、有形固定資産の一部について、当第1四半期連結会計期間より耐用年数を変更しました。これにより、営業利益が、建材事業で27百万円減少し、工業薬品事業で7百万円増加しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

	建材事業 (百万円)	工業薬品事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,893	917	18	3,829	—	3,829
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	51	51	(51)	—
計	2,893	917	70	3,881	(51)	3,829
営業利益	283	175	2	461	(106)	355

(注) 1 事業の区分は主として、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品・商品

(1) 建材事業……住宅・ビル用不燃内外装材

(2) 工業薬品事業……マグネシウム類薬品、カルシウム類薬品、セラミックス原料及び製品

(3) その他の事業……養殖魚、セメント等建築資材

3 「養殖事業」は、事業区分「その他の事業」に含めて記載しておりますが、前第1四半期連結累計期間においては、別記載しております。なお、「養殖事業」は、当連結会計年度中に事業廃止することが決定しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)

在外支店及び在外連結子会社がないため、所在地別セグメント情報は作成しておりません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

在外支店及び在外連結子会社がないため、所在地別セグメント情報は作成しておりません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)

項目	アジア	欧米	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	255	125	98	480
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	4,374
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	5.8	2.9	2.3	11.0

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア: 東アジア諸国

欧米: ヨーロッパ諸国、米国

その他: 上記以外の諸国

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年7月31日)

該当事項はありません。

「参考」

【四半期財務諸表】

- ①四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。
②「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に従い四半期財務諸表を作成しております。

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年7月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金	1,899	2,442
受取手形	1,188	1,396
売掛金	2,395	2,172
商品及び製品	2,471	2,629
仕掛品	488	431
原材料及び貯蔵品	484	505
前払費用	89	99
繰延税金資産	267	320
未収入金	9	49
その他	2	2
貸倒引当金	△ 18	△ 18
流動資産合計	9,278	10,030
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,042	2,090
構築物	75	76
機械及び装置	3,006	3,281
車輛運搬具	13	15
工具、器具及び備品	75	81
土地	1,256	1,260
建設仮勘定	3	54
有形固定資産合計	6,473	6,859
無形固定資産		
ソフトウェア	116	128
電話加入権	3	3
無形固定資産合計	120	131
投資その他の資産		
投資有価証券	500	411
関係会社株式	0	0
出資金	1	1
関係会社長期貸付金	392	390
破産更正債権等	76	64
長期前払費用	43	49
繰延税金資産	484	506
その他	113	103
貸倒引当金	△ 408	△ 398
投資その他の資産合計	1,203	1,128
固定資産合計	7,796	8,119
資産合計	17,075	18,150

(単位：百万円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成21年 7 月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年 4 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	873	999
買掛金	980	973
短期借入金	2,800	2,900
1 年内返済予定の長期借入金	2,215	2,138
未払金	388	368
未払費用	137	169
未払法人税等	10	26
前受金	4	1
預り金	43	41
賞与引当金	74	47
設備関係支払手形	20	50
その他	51	110
流動負債合計	7,601	7,828
固定負債		
長期借入金	5,115	5,965
退職給付引当金	638	742
役員退職慰労引当金	91	97
固定負債合計	5,844	6,805
負債合計	13,446	14,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金		
資本準備金	1,078	1,078
資本剰余金合計	1,078	1,078
利益剰余金		
利益準備金	133	133
その他利益剰余金		
別途積立金	1,750	1,750
繰越利益剰余金	△ 502	△ 558
利益剰余金合計	1,381	1,325
自己株式	△ 23	△ 23
株主資本合計	3,755	3,700
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 126	△ 183
評価・換算差額等合計	△ 126	△ 183
純資産合計	3,629	3,516
負債純資産合計	17,075	18,150

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成20年 5 月 1 日 至 平成20年 7 月31日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成21年 5 月 1 日 至 平成21年 7 月31日)
売上高	4,363	3,810
売上原価	3,295	2,585
売上総利益	1,068	1,225
販売費及び一般管理費	1,075	873
営業利益又は営業損失 (△)	△ 7	352
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	10	5
助成金収入	—	7
破損損害金	5	—
雑収入	8	10
営業外収益合計	27	24
営業外費用		
支払利息	63	68
たな卸資産評価損	19	—
雑支出	39	16
営業外費用合計	122	85
経常利益又は経常損失 (△)	△ 102	291
特別利益		
有形固定資産売却益	—	47
賞与引当金戻入額	162	—
投資有価証券売却益	102	—
貸倒引当金戻入額	20	—
その他	6	—
特別利益合計	291	47
特別損失		
事業構造改善費用	—	194
たな卸資産廃棄損	4	11
固定資産除却損	—	1
たな卸資産評価損	290	—
特別損失合計	295	207
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 106	131
法人税、住民税及び事業税	4	4
過年度法人税等戻入額	△ 7	—
法人税等調整額	△ 21	72
法人税等合計	△ 25	76
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△ 80	55